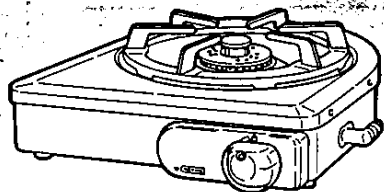


ガスコンロ

10-313/314型

型式名 LC1001

取扱説明書



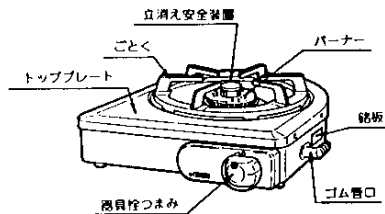
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

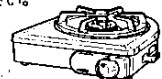
このたびは、大阪ガスのガスコンロをお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

各部のなまえ

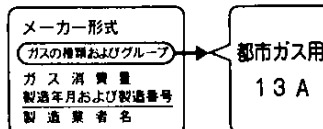


必ずお守りください

- ガスの種類を確かめる
- 本体右側面にはってある銘板のガス以外では使用しないでください。

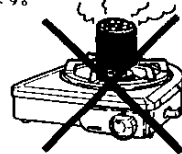


(銘板)



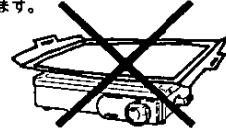
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

- 用途について
- 調理以外の用途（炭・燐炭おこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。
- 過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。

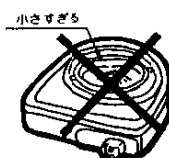


●市販の補助用具について

- 極端に大きな鉄板や、なべ（33cm以上のなべや10kg以上になるもの）熱を逃がさないようにするためのなべ枠などは、使用しないでください。不完全燃焼をおこしたり、器具の異常過熱の原因になります。

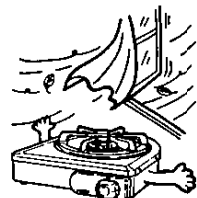


- 市販のアルミ製する受けをお使いになる場合は、しる受け部に充分なじませてお使いください。浮き上がったり、しる受け部より小さいもの、またはみ出すような大きなものは使えません。



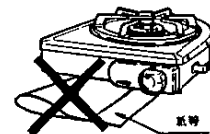
●使用場所について

- 次のような場所では、使用しないでください。
- 強い風の吹き込むところ。
- カーテンや、燃えやすいもの近く。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところ。
- 家具・可燃性の壁などからは十分離して使用してください。（詳しくは3ページをお読みください。）



●火災予防について

- 器具の上下や周囲に燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を置かないでください。



●ガス事故防止

- ・お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。
- ・ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。
(古くなったゴム管は取り替えてください。)
- ・ガス漏れに気づいた時は、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部開けて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス社にご連絡ください。

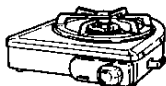


〔ご注意〕

- ・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけない、換気扇等其他電気器具に触れたりしないでください。(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど) 火や火花で引火し、爆発事故などをおこすことがあります。

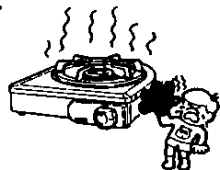
●換気について

- ・ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気にご注意ください。



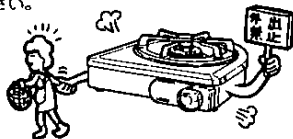
●やけどの注意

- ・使用中および使用直後は器具本体とその周辺は熱くなりますので手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭は、ご注意ください。



●使用中の外出について

- ・火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
- ・天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。



●異常時の処置

- ・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具栓、ガス元栓を閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障・異常の見分け方と処置方法については5ページをお読みください。)

●日常の点検・お手入れ

- ・器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。
(詳しくは4ページをお読みください。)
- ・故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- ・万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス社にご連絡ください。

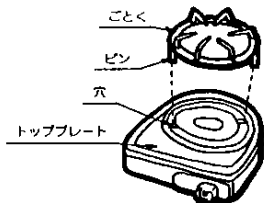
器具の設置

●設置前の準備と確認

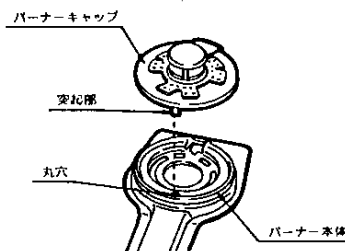
- ・各部分のあて紙や包装部品を取り除き、正しく設置してください。
- ・器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

●部品の取り付け

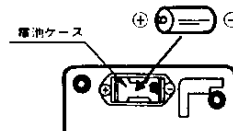
- ・トッププレートの上にごとくをのせてください。
(ごとくは方向性があります。ごとくの裏面にあるピン(2ヶ所)がトッププレートの穴にはまり込むようにのせてください。)



- ・バーナーキャップをはずした場合はピン状の突起部をバーナーボディの丸穴に正しくセットしてください。それ以外の位置では確実にはまりません。



- ・電池は電池ケース(器具下部の手前にあります)にはめこんでください。
電池は単2 (1.5V) 1個使用です。
- ・バチバチという音の箇所が長くなった時や着火がしにくくなったら電池が消耗していますので、新しいものとおとりがえください。

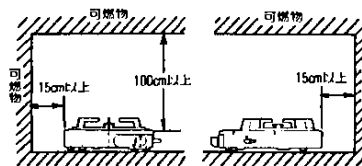


●設置上のご注意

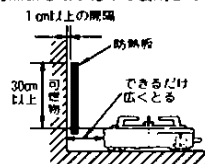
- ・丈夫で水平なガス台、もしくはテーブルに設置してください。
- ・耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。

○周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合

- ・器具の側面及び背面は、木製のような可燃性の壁(ステンレス板などを直接張り付けた可燃性の壁を含む)から15cm以上離してお使いください。また上部は器具上面から100cm以上離して使用してください。(但し不燃性の場合は80cm以上) 一火災予防条例で定められています。



- ・可燃性の壁面から15cm以上はせない場合は、別売の防熱板を取り付けて使用してください。



●ゴム管の接続

- ・ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込んでしっかりとめてください。
- ・9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、お部屋のガス元栓器具のゴム管口とも赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。
- ・ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり濡れたりしないよう、できるだけ短くし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
- ・ゴム管の継ぎたしおよび二分岐はしないでください。



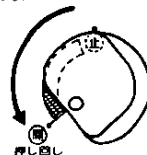
使いかた

●点火前の準備と確認

- ・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- ・器具栓つまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元栓を全開にしてください。

●点火

- ・器具栓つまみを押しながら止めの位置より左へ止まるまでゆっくり回すと「バチバチ」音がしてバーナーに点火します。
- ・点火を確認してから数秒間(立消え安全装置が働くまで)そのままの位置で器具栓つまみを保持してください。(途中で手を離すと点火しないことがあります。)



【ご注意】

・はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合には空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。

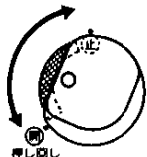
・万一点火しない場合は、器具栓つまみを一旦もとに戻して、改めて点火の操作をしてください。あまり早く戻すと点火しないことがあります。

●空気調節

・空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

●火力調節

・器具栓つまみを「開」と「止」の間で適当な炎に加減してください。「開」方向へ回すと火力は強く、「止」方向へ回すと火力は弱くなります。



●消火

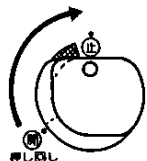
・器具栓つまみを右へいっぱい「止」の位置まで確実にまわって消火してください。

【ご注意】

・必ず火が完全に消えたが確認してください。

・消火後すぐに使用になる場合は、数秒経ってから点火してください。

・長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具栓つまみをしめるだけでなく、必ずガス元栓を止めてください。



●立消火安全装置について

・立消火安全装置は煮こぼれや風などで火が消えた時にガスを自動的に止める装置です。

●立消火安全装置が作動したときの処置方法

・使用中バーナーが消火したときは、すぐに器具栓つまみを「止」の位置へ戻し、さらにお部屋のガス元栓も「止」の位置に戻して5ページの「故障かな?と思ったら」および、次の方法により処置してください。

●処置方法

・バーナーの炎が消えたときには、立消火安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。(30秒~1分程度)バーナーの消火に気がついたときは、すぐに器具栓つまみを「止」の位置へ戻してください。

・再点火されるときは、周囲に生ガスがなくなるまで少し(約1分)待ってから使いかたに従って点火してください。

使用時のご注意

・煮こぼれは器具を早くいためますのでご注意ください。煮こぼれた時は、必ず完全にふきとってください。煮こぼれて炎口がつかると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあります。

・点火の際は、こころになべやカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。

日常の点検・手入れ

●点検・手入れの際のご注意

・点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。

・点検で異常を見つけたときは、大阪ガスサービショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。

・点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、器具が冷えてから行ってください。

●点検

・安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元栓ともゴム管口の赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてあります。

・ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。

・ゴム管が古くなってひび割れたり、差し込み口がゆるんでいないか、ときどき石けん水などで点検してください。

・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。

・バーナーキャップ、ごとくなどが正しくセットされていますか。

・バーナーキャップの炎口が煮こぼれなどで詰まっていますか。

・立消火安全装置の先端が煮こぼれなどで汚れていませんか。

●お手入れ

○器体の表面・トッププレート・ごとく

・そのつどお手入れして前くのが一番です。煮こぼれなどの汚れは濡った布で拭きとってください。汚れのひどいときは台所洗剤を布にきませて洗ってください。お手入れ後乾いた布で洗剤や水気を十分拭き取ってください。

【ご注意】

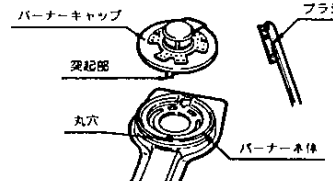
・お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようにご注意ください。

●バーナー

・バーナーキャップをとりはずし、ブラシやキリ刃のものでぞうじしてください。目づまりなどで燃えなくなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。バーナーを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。

【ご注意】

・バーナーキャップの水洗いはできるだけきつ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気を取っておいてください。



・立消火安全装置を固いブラシなどでみががないでください。故障の原因になります。また煮こぼれなどはすぐふき取るように習慣づけてください。性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も縮めます。

故障かな?と思ったら

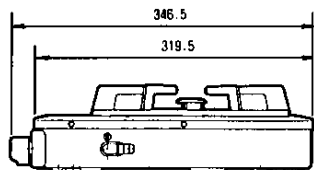
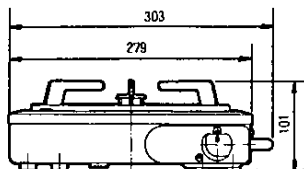
現象	原因										処置方法	参照ページ
	器具栓つまみから手を離すと点火する	器具栓つまみを回して点火しない・点火しにくい	器具栓つまみを回しても点火しない・点火しにくい	煮こぼれで燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	消火しやすくない	お湯が出ない	ガスまたはいかなる炎が出ない	ガス元栓が閉じられている		
ガス元栓の開け忘れ		○									器具栓を一旦閉じてからガス元栓を全開にする	1
ガス元栓の開き不十分		○	○						○			4
ゴム管内に空気が残っている		○	○								ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作をくり返す	4
ガス圧が適切でない		○	○	○	○	○					他の器具も同様の場合は点検を依頼する	1
ゴム管の折れ曲り、つぶれ									○		ゴム管の折れ曲りをなおす	1
バーナーの炎口づまり	○	○	○	○	○	○	○	○			つまみを取り除く、それでも直らないときは点検を依頼する	5
バーナーキャップの取り付けが悪い	○	○	○	○	○	○	○	○			正しく取り付ける	3
点火操作が適切でない	○	○									「使用方法(点火)」参照	3
点火装置の電極部の汚れ		○									汚れをふきとる。それでも直らないときは点検を依頼する	1
点火装置の故障		○									点検を依頼する	1
器具栓の故障	○	○							○			1
器具の銘板と使用ガスの不一致	○	○	○	○	○	○	○	○			銘板を確認し点検を依頼する	1
立消火安全装置の故障	○										点検を依頼する	1
立消火安全装置が作動	○							○			「使用方法(点火)」参照の上正しく操作する	3
電池が消耗している		○									新品と交換する	3
電池の取付けが悪い		○									正しく取付ける	3

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ゴム管口など）にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

寸法図・仕様

単位：mm



器種名	一ロコンロ	
品名	10-313	10-314
本体色	シルバー	レッド
点火方式	連続放電点火	
外形寸法	高さ101mm×巾303mm×奥行346.5mm	
重量(器身)	2.3kg	
安全装置	立消え安全装置	
使用ガス	1時間当りのガス消費量	ガス接続
使用ガスグループ		
13 A	4,100kcal/h	内径9.5mm ガス用 ゴム管

アフターサービスのお申し込み

●サービスのお申し込み

- 5ページ「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

- ①品名……(コンロ)
- ②番番……左側面に貼付してあります。

(例)

(N)10-313
大阪ガス株式会社 06

- ③現象……(できるだけ詳しく)
- ④遊順……(できるだけ詳しく)

●転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証書について

- この器具には保証書がついています。このコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。

本社ガスビルサービスセンター→支社所在地および電話番号

南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2-9-41 TEL(06) 652-0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3-6-36 TEL(06) 301-1251
南都支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19 TEL(0722)38-1131
北都支社	〒569 高槻市藤の里町39-6 TEL(0726)71-0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4-11 TEL(0798)26-3101
東都支社	〒578 東大阪市福葉2-3-17 TEL(0729)62-1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16-17 TEL(0720)41-1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5-13-10 TEL(078)576-5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 TEL(075)231-8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1 TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1 TEL(0734)31-2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4-8 TEL(0792)85-2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町東津29-1 TEL(0794)21-1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57 TEL(07962)3-2221
湖南支社	〒525 草津市遠分町字荒畑680-1 TEL(0775)62-5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-11 TEL(0749)22-3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3-4 TEL(0749)62-7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。